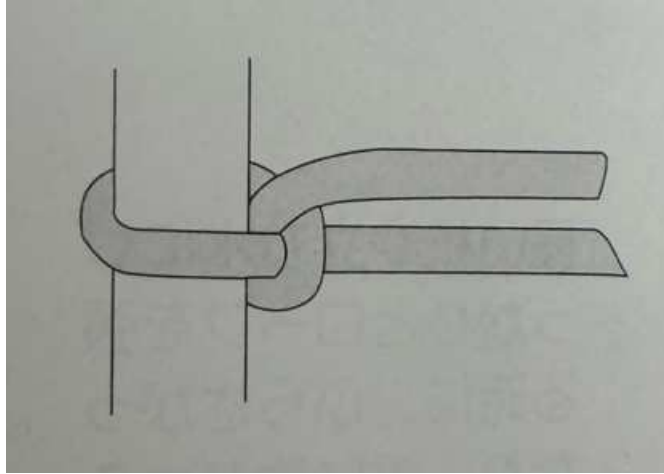


## (1) ひと結び

- ①立木などにひと巻きし、輪っかに通して結び目を締める。



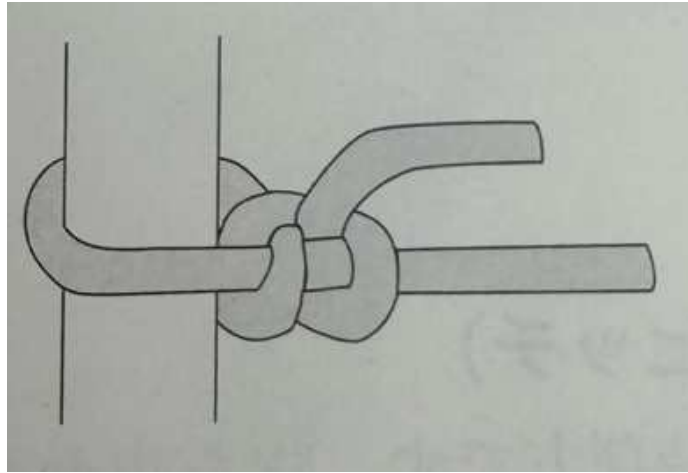
- ②完成。端は最低でも10cmは残しておくこと。短すぎると、信頼性が低下する。



## (2) ふた結び

①立ち木などにひと結びする。

② ①を繰り返し、結び目を強く締める。



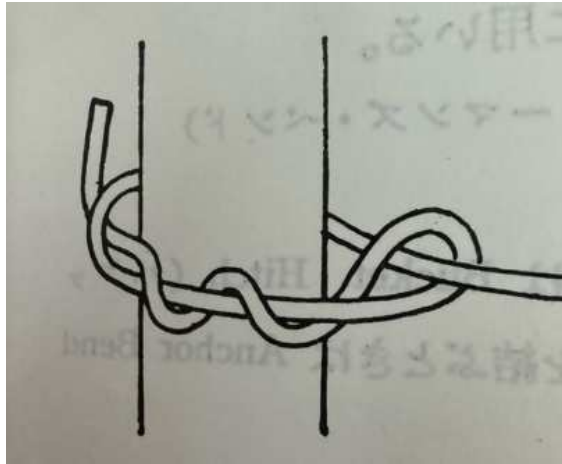
③完成。ロープ側へのテンションがかかっていれば、ゆるむ心配はほとんどない。

テンションがなると、結び目が緩くなるので注意。端はやはり10cm程残しておく。



### (3) ねじり結び

- ①立ち木などにひと結びする。(強く締めない)
- ②輪っかにロープの端を何回も巻き込んでいく。



- ③ロープとロープの端を引き、結び目を締める。

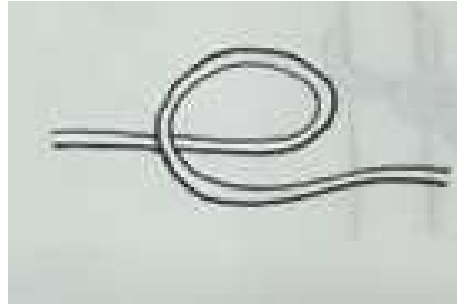
- ④完成。ロープ側へのテンションがかかっていけば、ゆるむ心配はほとんどない。

テンションがなると、結び目が緩くなるので注意。端は10cm程度残しておく。

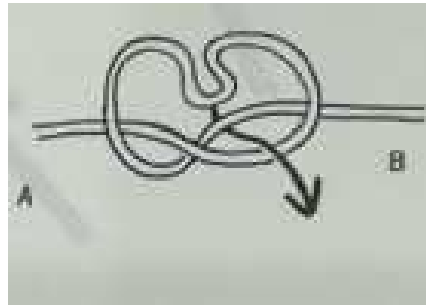


## (4) よろい結び

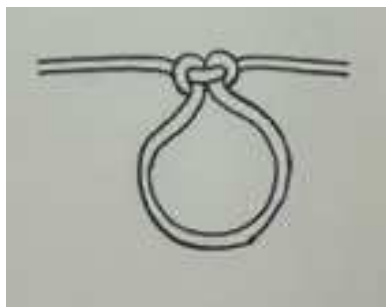
①輪っかを作り、矢印方向へもっていく。



②矢印方向に掴んだロープを引っ張って締める。

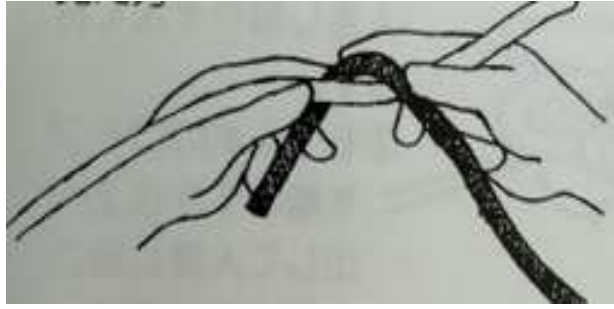


③完成。大きさの固定した輪っかができる。

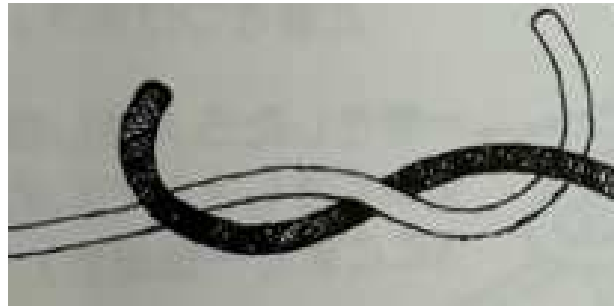


## (5) 本結び

①右手のロープを上にして、片結び1回。



②右手のロープを下にして、片結び1回。



③両端を引っ張って、強く締める。



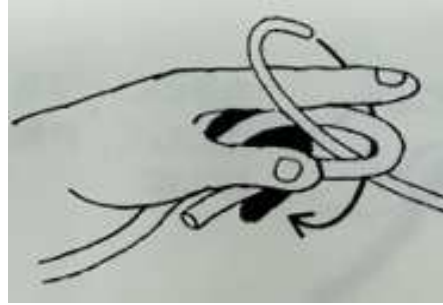
④完成。出るところと入るところが同じで、  
ほどけない。(和服の帯締め)



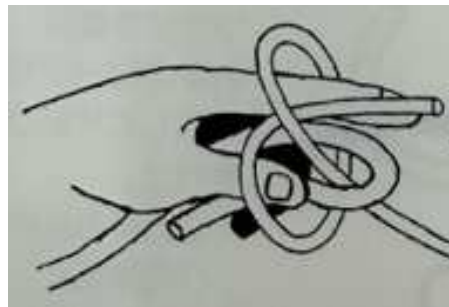
## (6) 一重つぎ結び

①ロープを輪にして人差し指を添えて持つ。

②もう 1 本のロープを輪の下から上へ出して、  
人差し指ごとと巻きつける。



③ひと巻きしたら人差し指に沿って差し入れて、  
強く締める。



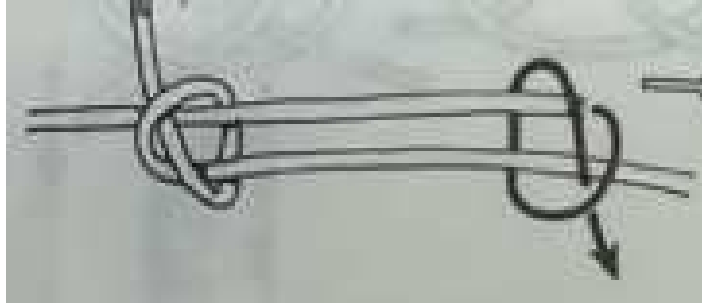
④完成。ほどく時が簡単。



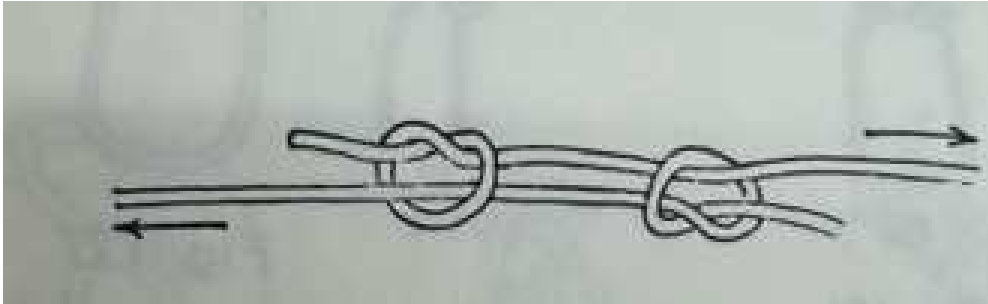
## (7) テグス結び

①ひと巻きしたロープに、もう1本のロープを通し、止め結びの形にする。

②最初のロープの元と端を強く引っ張り締める。



③通した方のロープも同じ要領で結び、締める。

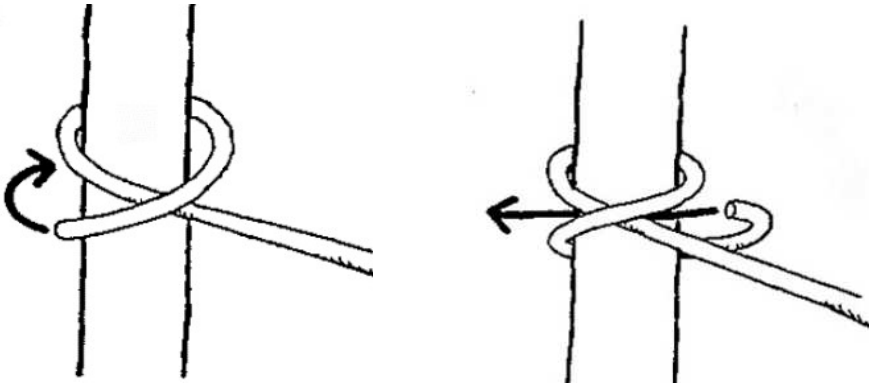


④完成。釣り糸のテグスのように、丈夫な結び目になる。

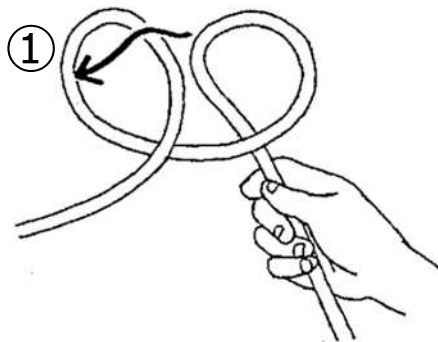


## (8) 巻き結び

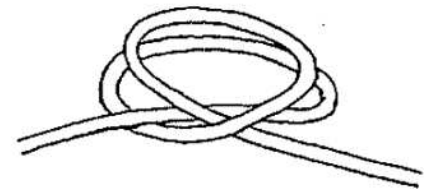
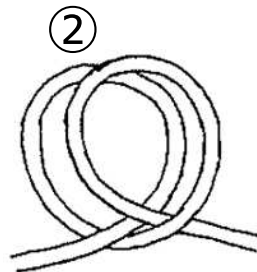
- ①×印をつくり、もうひと巻きする。
- ②×印の下（ロープの1番下）に差し入れる。
- ③完成。ほどけないよう、強く締める。



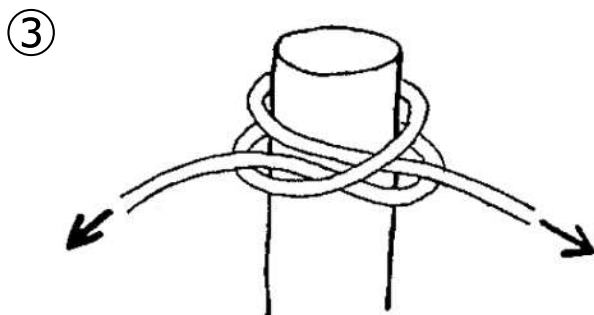
### (末端に結ぶ方法)



同じ輪を2つ作り重ねる元のロープの下で輪を作ったら2つめの輪が上になるよう重ねる



もちろん逆のストーリーもあります。元のロープの上で輪を2つ作ったら2つ目の輪は下に重ねる。

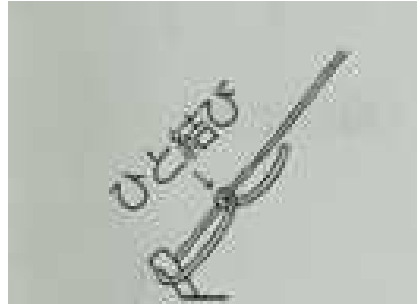


短い杭などの時は上からさしいれて、両端を引っ張る。

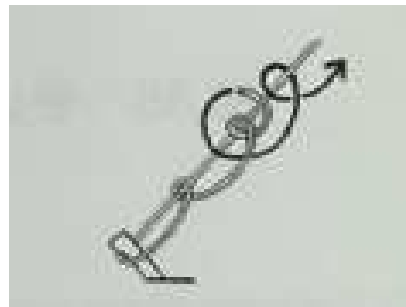


## (9) 自在結び

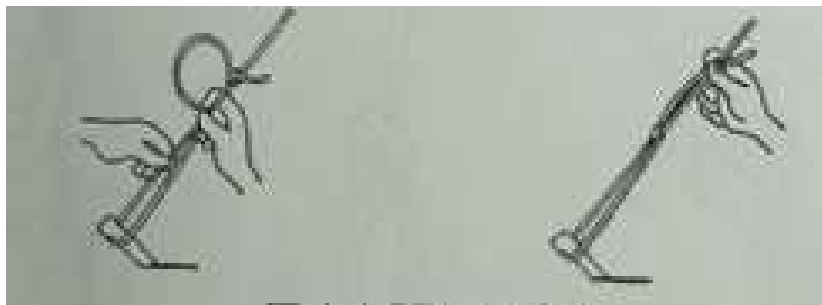
- ①ロープを張りながら、ひと結びを1回、  
間隔をあけてもう1回結ぶ。



- ②終わりはひと結びを二重にして、引き締める。



- ③完成。結び目を移動させて、長さや張り具合を調節する。



## (10) もやい結び

①ロープで輪っかを作り、端を下から通す。

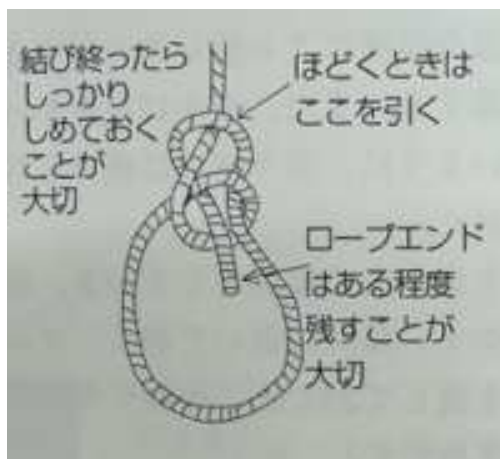


②ロープ元の後ろをひと回りさせ、再び輪っかの中に通す。



③端を強く引いて、締める。

④完成。輪っかの大きさが変わらない。



### 参考文献

- (1)ロープの結び方 (神戸商船大学教授杉浦昭典著 海文堂)
- (2)野外活動テキスト (日本野外教育研究会編 杏林書院)
- (3)改訂キャンプテキスト (日本野外教育研究会編 杏林書院)
- (4)野外レクリエーション (東京都レクリエーション連盟著 成美堂出版)